

農すざか」も活動しており、耕作放棄地の解消、受講生の生きがい・健康づくり、高校生との世代間交流、地元の特産品への理解が深まっている。

●山梨県都留市「家中川小水力市民発電事業」について

1. 事業の概要

都留市内を流れる家中川は、水量が豊かで、富士の裾野が尾を引く傾斜地のため、流れが急で水車による動力源の確保に最適で、穀物の精米・製粉などに利用されてきた。

市政50周年を期に、水のまち都留市のシンボルとして、水力発電の普及・啓蒙を図ることを目的に、水車による小水力発電機の設置を決め、平成18年度に「元気くん1号」、平成22年度に「元気くん2号」、平成23年度に「元気くん3号」が完成し、それぞれ発電を開始した。

作られた電気は市役所、エコハウス、植物栽培展示施設に供給し、電力の一部を担っている。また、市役所の土日・夜間分の電力は売電も行っている。

2. 事業の効果

この取り組みは、総務省の「地域づくり総務大臣賞」などを受賞。年間コストは1機あたり15万円程度で24時間発電が可能であり、耐用年数も長期である。視察者は、国内のみならず海外から来訪し、市の賑わい・経済効果にも寄与している。また、市民のエコロジカル意識を高め、地球温暖化防止運動などに広がりを見せてきており、市の環境拠点となりつつある。

◎教育民生常任委員会 平成26年7月8日(火)～7月10日(木)

●滋賀県東近江市「国保ヘルスアップ事業」について

1. 事業の目的

年々増加している医療費を適正化するため、内臓脂肪症候群の予防を推進し、医療費の抑制と減少を目的とし、さらに「元気なまちづくり」、また地域に根ざした事業実施を目的とした。

2. 事業の概要

検診後の「結果お返し会」で説明と指導を実施し、要医療者はレセプトで受診確認の上、未受診者には再度受診を促している。平成23年度からは、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施。平成24年度からは、治療中患者情報提供票・巡回人間ドック・未受診者個別訪問に取り組んでいる。平成25年度からは、こころと体の健康事業に取り組んでいる。

3. 事業の効果

医療費が平成23年度から横ばいとなり、国民健康保険特別会計の単年度収支が、黒字になる成果に加え、新規の透析患者数の大幅な減少が図られた。また、市の補助により安価で受けられるため、人間ドックの受診率が飛躍的に伸びた。医療費が年々増大する昨今、この取り組みには、如実に数字で現れた成果と、年を追ってさまざま事業への展開がされている。

●兵庫県西宮市「こども環境活動支援事業」について

1. 事業の経緯・概要

平成4年から子どもたちが、継続的に環境学習に取り組めるよう「地域ウォッチング事業」が始まる。平成10年「エコカード・エコスタンプシステム」(環境学習や環境にやさしい商品の購入、中学生以上では社会貢献でもカードにスタンプを押す)の導入を機に、21世紀は『こども・環境・教育』がキーワードとの考えのもと「こども環境活動支援協会」が発足した。平成14年にNPO法人の承認を受けた。

平成15年には「環境学習都市宣言」を行い、持続可能な社会システムの構築を目標としている。

2. 事業の効果

市や国の受託事業を幅広く行うとともに、JICAを通じ研修を行うなど、国際的にも貢献している。協会設立時には、資金集めに苦労した。現在でも、各種受託事業やキャンプ場等の指定管理による収入はあるものの、個人会員、団体会員の会費収入の確保が課題である。

また西宮市では、「市民」「事業者」「行政」の協働・連携環境学習都市をめざすとしており、大人と子どもがいっしょに環境学習に取り組んでいるものの、学校教育と地域づくりをどう結びつけていくのか、福祉・人権などの問題ともあわせ、検討中である。

●兵庫県伊丹市「ことば文化都市推進事業」について

1. 事業の経緯・概要

松尾芭蕉と並び称される上島鬼貫を輩出したところであり、俳句づくりが盛んなど、市民がことばに対する関心が高い、という地域的土壌があった。国の「構造改革特別区域」の指定を受け、平成18年度から小学校に「ことば科」、中学校に「グローバルコミュニケーション科」を設置した。

○ことば科：(小3～小6)週1時間年間35時間実施。俳句・スピーチ・ディベートを学習している。言葉のすばらしさ、楽しさを感じさせる内容としており、ことば科指導員を配置(平成26年度からは、担任の先生が担当)している。

○グローバルコミュニケーション科：(中学生)総合的な学習時間1時間をあて設置された。学習指導要領の変更により、平成24年度から廃止となる。

2. 事業の効果

「ことばって楽しいなあ」と実感する心を育てることにより、この事業の背景にあった平成17年学習到達度調査での「書く力」の課題、記述式問題に白紙回答が多いこと、不登校・問題行動の原因としてコミュニケーション力の低下、それらの問題に対し成果が認められた。

今後は、「伊丹市教育ビジョン」で、ことばの探求や小学校での英語学習を検討中である。